

紀宝の
珍百景
その56

見つけた!

110年以上の歴史を紡ぐ

大里発電所



紀宝の
珍百景
認定



明治 36 年当時
写真提供：関西電力(株)田辺水力センター

今回の珍百景は、明治36年から110年以上の歴史を紡ぐ大里発電所をご紹介します。この発電所は、大里親水公園の上流に位置し、360kWの発電出力を有する水力発電所で、付近は昔から「電気の谷」の愛称で親しまれています。

この発電所は、明治36年に新宮水力電気会社によって開設され、会社の合併、統合が進み、今は関西電力が所有していますが、管内でも最も歴史のある発電所で、関西電力の中でも京都にある全国初の事業用水力発電所である蹴上発電所(明治24年)に次ぐ運転実績があるそうです。

また、昭和29年の集中豪雨、平成23年の紀伊半島大水害などで甚大な被害を受け、何度も閉鎖の危機に立たされましたが、その都度、地域の住民の熱意と同社の努力により復旧され、今に至っています。

施設の横に架かっている橋は、紀伊半島大水害で被災し再建されたもので、地域の名称にちなみ「小登橋」と名づけられました。

また、相野谷親水公園から大里発電所、さらに上流の取水堰までのルートはこれからの季節、自然あふれるハイキングコースとしても楽しむことができます。

DIY

有言実行!?

先月のひとりごとにてGWでDIYをしたいと書いてしまったので、いざ有言実行すべく何を作ろうか考えて、思いつきで3歳の娘が好きなすべり台を作ってみました。

ネットで参考になりそうな作品を検索しつつ、設計図も書かずファイリングと現場合わせだけで作ったため、当初のイメージよりずいぶん大きくなっていました(汗)

幸い娘は喜んでくれたのですが、庭を大分圧迫してしまう結果に…何事も計画は大事ですね。

(広報も計画的に 愛野裕基)



DIYで作ったすべり台



広報担当 愛野裕基

子ノ泊山に登りました

毎年企画調整課では、GW前に登山ルートの安全確認や携帯の電波強度確認のため、子ノ泊山に登っているというので、今年は自分も参加しました。

今回は、「鉄はいい」という場所から登ったのですが、下から見るとほぼ断崖絶壁。「これは…」と思いつつも、壁から登り始め、最初の休憩場所に着いたころには、「もう下山しようかな」と思うくらい辛かったです。少し休憩すると、だいぶよくなり、なんとか頂上まで登りきることができました。初めは一眼レフカメラを持っていくつもりでしたが、今回は持っていないので正解かなと思えました。

(次の日は筋肉痛に苦しんだ 田中健太郎)



頂上からの景色



広報担当 田中健太郎